【履歴書、教育研究業績書の記入上の注意点】

a 年月日は西暦で記入してください。

b 「年齢」は記入時の満年齢を記入してください。

c 「学歴」は、大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴（学位、称号を含む）のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入してください。

d 博士課程を出て未だ博士号を取得していない者の学歴は、「博士課程単位取得満期退学」と記入してください。

e 大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等は「職歴」欄に記入してください。

f 学位、称号の他、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、教員等の資格についても「学歴」欄に記入してください。この場合、登録番号も付記してください。

g 外国における資格については正確に記入するとともに、その資格の内容についても併記してください。

h 外国留学については、学生としての留学の場合は「学歴」欄に、研究者としての留学の場合は「職歴」欄に記入してください。

i 「職歴」は、職歴のすべてについて記入し、各職歴について、在職期間、職名、職位等が明確になるように記入してください。なお、現職については必ず「現在に至る」と明記してください。

j 自営業、主婦、無職等についても省略せず「職歴」欄に記入してください。

k 専門分野や担当科目に直接関係のある職歴については、できるだけ具体的に記入してください。（例：小、中、高校等の教員経験がある場合、勤務校等）

l 「学会及び社会における活動等」は、専攻、研究分野等に関連した事項について記入してください。なお、所属学会名は正確に記載してください。

m 過去の課程認定委員会における教員審査で、単独担当で「可」とされた方は該当審査に係る審査年・大学・職名及び担当授業科目名を職歴欄に記載してください。
記載例：【過去の課程認定審査委員会における教員審査（単独担当「可」）】
〇〇概論（平成〇年、〇〇大学 教授）
〇〇教科教育法（平成 30 年、〇〇大学 教授）＜再課程認定＞

n 外国人の場合は、母国語で記入して差し支えありませんが、その場合は訳文を添付してください。

o 「著書、学術論文等の名称」の欄については、著書、学術論文及びその他の順に適切に区分し、年月日順（過去→現在）に記入し、区分ごとに番号を付してください。
査読付き論文はその旨を明記してください。また、欄外の注意事項を確認の上、記入してください。

p 概要については原則として、各欄、少なくとも２００字で具体的に記入してください。

q 共著の場合は、本人の担当部分（概要及び掲載頁（Ｐ○○～Ｐ○○）を示してください。）を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例 ：編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××）に記入してください。なお、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。（例：共同研究 につき本人担当部分抽出不可能）また、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。

r 一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著と整理してください。

s 学位論文については、その旨明確になるように記入してください。

t 発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで明記してください。

u 「作曲」に係る業績については、出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載してください。（再演については不要です。）

v 著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、出版社や学会からのその旨の証明書を添付してください。なお、書類提出時以降に投稿予定のものは含めないでください。

w「氏名」欄は、自署及び捺印してください。

以 上